

科目	「問3. 授業を受けた上で、自ら関連項目について文献やインターネットなどで調査し、新たな思考を展開した。さらにその思考に基づき行動した。」及び「問15. あなたはこの授業に毎回出席しましたか」から、学生の受講態度についてどのようにお考えですか。選択肢からお選びください。また、改善案があればお書きください。	学生の 受講態度
F	(無記入)	普通
F	今度はもうちょっと自習の課題をする予定があります。	普通
F	英語によるコミュニケーション能力を高めることを第一の目標として講義を展開し、学生はほぼ真面目に取り組んだと考える。新たな思考を展開するためには、毎回の講義で取り上げるテーマをもう少し難しい社会問題も組み入れるとよいと思われる。	良い
F	ペアワークをしている間、それ以外の学生達にインターネットを使用して教科書の課題に取り組んでもらうため、せっかくインターネットを利用できる教室を使用させてもらったにも関わらず、ほとんどの学生達は活用しませんでした。1限目の授業において欠席が目立ちました。	普通
F	授業へは積極的に参加し、グループでのプレゼンテーションにもしっかり取り組んでくれたが、毎回ペアワーク中心の授業のため、私語が多くなることもあったのが、残念であった。授業内のクラス巡視をさらに増やし、学生とのコミュニケーションを図りたい。	良い
F	英語に興味のある学科とそうでない学科は分けた方がいいのかも？と思ったりしております。 受講人数の問題も含め諸事情あるので、そうできないこと前提に授業工夫していますが。	普通
F	リーディングを中心にしたクラスであるが、ペアワークを取り入れ、学生同士で理解が深められるようにした。意欲的な学生がほとんどであるが、中には居眠りや私語になる者もいたのが残念であった。授業中のクラス巡視をさらに増やし、学生とのコミュニケーションを図りたい。	良い
F	授業を知識の習得だけでなく、思考することも必要とするような内容に変えていく必要がある。	普通
F	(無記入)	非常に良い
F	受講態度も良く、活発な学生が多かった。明るくノリの良いクラスだったので楽しく授業をすることができた。8割以上の学生がほとんど欠席することなく毎回出席し、いろんな課題に真面目に取り組んでいた。彼らの能力ややる気をもっと引き出し、授業中だけでなく授業外でも意欲的に学習したくなるような指導をしていきたい。	良い
F	学生は出席率も授業の受講態度もよく、熱心に授業に取り組んだ。 自ら関連項目について調査した学生があまりいなかったのは、自分の身の回りのことを英語で書くことは課題にしたが、調査するほどではなかったからだろう。課題の出し方に工夫をしたい。	良い
F	未習外国語の初級においては、問2や問3のような設問自体が成立しにくく、語学授業には不向きな設問なので学生には答えにくかったかと思われる。身近にあるフランス語へ興味から入ってゆく方法を考えている。	良い

F	問3においては、e-learning課題を通じて自律的な英語学習の機会を与えたが、課題遂行がうまくいかなかった学生もあり、非常に良いとは言えない。今後も課題と授業内容がより結びつき、学生自身が学習成果を感じるように工夫していきたい。学生の授業態度は両クラスとも非常に良く、積極的に学ぶ姿勢が認められる。	良い
F	(無記入)	良い
F	全体的に学生は真面目に授業課題に取り組んでいた。課題の出来上がり速度に差があるため、今後は学生が互いに確認しながら課題を進めていけるようそういった時間を設けて工夫していきたい。	非常に良い 良い 普通
F	受講態度は良いと思う。	良い
F	受講態度は良いと思う。	非常に良い
F	授業内で学んだことを様々なシチュエーションで活用してもらいたいと考えていますが、英語の学習は繰り返しの復習が何よりも大切なので、授業外学習としてはもっぱら復習を望みました。 世界のさまざまな地域で話されている英語(例:シンガポール英語)を聞いてみてもらうためにインターネットを活用してもらおうとよかったと考えます。 受講生の授業への姿勢は出席率を含めて概ね良かったと思います。	良い
F	(無記入)	普通

科目	「問10. この授業の教育目標を達成できたと思いますか」にかかわって、この授業のために設定された教育目標が、どの程度達成できましたか。選択肢からお選びください。また、改善案があればお書きください。	目標の達成度
F	(無記入)	達成しきれなかった
F	(無記入)	達成できた
F	7-8割の学生がこの問いに肯定的に回答しているが、英語が苦手な学生にきめ細やかな指導やコメントを与えたいと考える。	達成できた
F	学生の回答では「ややそう思う、どちらともいえない」が多かった。この授業の目的は将来教員になった時に、小学生への英語指導ができるようになることです。ですから基本的な単語や文、発音が中心です。最初の授業で目的を述べましたが、1年生ということもありあまり実感がないせいか、目的を意識しないまま授業に臨んだので、目標への達成度の評価はこのようになったと理解しています。	普通
F	ペアワークでお互いにコミュニケーションをとり、さらにテーマに沿ってグループで発表するなど、意欲的に取り組んでくれたと思う。コミュニケーションスキルの向上のためにも、これらは続行したい。	達成できた
F	学生の英語への苦手意識に差があるので、思ったように進めることは難しい。が、そこをふまえて、個別指導をさらに導入する。	普通
F	少し難易度の高いテキストではあったが、学生同士で講読内容を説明、確認することで読解力もついたと思う。ただし自主学習不足者については、さらなる努力が求められるが、リーディングアビリティの向上のためにも、この方法は続行したい。	達成できた
F	受講組み分けから、教科書を平均的で一般的なものを使用せざるを得なく、結果的に焦点のはっきりしない授業になったかもしれない。今後はもっと学生のニーズに合わせていきたい。	普通
F	(無記入)	十分達成できた
F	今期は教科書を新しくしたので、内容の解説が上手いかなかったり、教科書中のタスクやアクティビティに予想以上の時間がかかったりと、当初の計画通りには授業を進めることができなかった。特に3限目のクラス(新しい教科書を使って最初に指導するクラス)では、全体的に段取りが悪かったと思う。4限目のクラスは3限目のやり方を改善することができたので、3限目のクラスよりもスムーズに進めることができた。2-3年で教科書を変えているが、教科書を変えるとどうしても最初のクラスで手際の悪さが目立ってしまう。学生には本当に申し訳ないと思う。初回はあらゆるケースを想定し、十分な準備をして授業に臨みたい。	良い
F	「短いセンテンスから会話やパッセージまで、さまざまな素材を数多く聞くことによって、英語特有の言い回しについて理解を深め、関心を持ってリスニングができるようにし、自らも発信できるようにする」のが目標であった。自らの発信の部分に物足りなさを感じる学生もいたので、教員からの呼びかけやペア学習の時間の取り方に改善の余地があったと思う。	達成できた
F	クラスによって若干理解度に差があるので、その点を踏まえて授業を進めていきたい。日常生活で目に触れるフランス語あるいはフランス語らしき言語を拾い集めて発表させる方法も検討している。	達成できた

F	この授業の目標は、これまで学習が学んできた英語表現や文法を実際のコミュニケーションの場でどう使用するかを確認し、会話スキットを作成することで自ら使用できるようになることである。学生の評価、コメントからも十分達成できたと思われる。	十分達成できた
F	授業の最後にその日の授業で学んだ内容に関する問題を解く機会を設け、学んだことを実感できるようにした。	達成できた
F	ほとんどの学生が「強くそう思う」や「ややそう思う」を選択しており、今後は「どちらともいえない」という学生への対応策等を考慮して全員が「そう思う」と選択できるよう授業内容を向上する努力をしていきたい。	達成できた
F	理解できるまで、時間をかけて丁寧に説明などして、シラバス通りにできなかった。改善策としては、シラバスを作るときに時間に余裕をもたせるようにしたい。	普通
F	理解できるまで、時間をかけて丁寧に説明などして、シラバス通りにできないこともあったが、最終的には達成できた。	達成できた
F	日常よく使われる英語表現を自然に発話できるようにいろいろなアプローチを試みた。 受講生が英語で発話する際に少しでも自信を持って行えるよう、様々な英語表現を提供しそれを深く理解させそして運用できるよう努めたい。	達成できた
F	(無記入)	普通

科目	「問11. 授業の難易度」、「問12. 一回当たりで扱われる授業内容の量」、及び「問13. この授業のための週当たりの学習時間」に対する学生による評価をみて、どのように考えられますか。また、改善案があればお書きください。
F	時間を費やした生徒が多い方が、授業にもやる気が表れている。
F	授業の難易度は「ちょうどよい」が6-8割で、次に「難しい」が1-3割であったが、難しいと回答した理由は、講義の大半を英語で進めたせいであろうと思われる。多くの英語を聴かせるという目的を持って講義を進めているので、その目的をもっと説明することで理解を得たい。学習時間については、1-2時間と答えた学生が両クラスとも一番多く、期待通りである。
F	授業内容の量において、私自身はちょっと多いかと思いましたが、「ちょうどいい」という学生の回答を知り、今回の結果を参考にして次回に活かしていこうと思います。授業の難易度も「ちょうどいい」とほとんどの学生は回答しました。週当たりの学習時間においては、1時間以内が最も多く、語学学習という観点から少な過ぎます。ましてこの授業では、発音に重点を置いて欲しいと願い、先にも触れたようにCD付の教科書を選びましたが、ほとんどの学生達はそれを活用してくれることはありませんでした。ただ自主性を強制することはできませんので、私個人の問題ではなく、大学全体で取り上げて、自らの学習時間を増やすように働きかけて欲しいです。
F	学生のレベルは粒がそろっており、授業態度もほぼ良好であるため、計画通りに進めることができた。これからも学生との意思疎通を図りながら進めていきたい。
F	学生的にだいたい満足の結果ではあったようけれど、できれば、満足よりも早いくらいが学ぶ側にとって利益は高いように思うので、もう少し情報を増やしていきたい。
F	学生のレベルは粒がそろっており、授業態度もほぼ良好であるため、授業は進めやすかった。きちんと準備をして授業に臨む学生には、講読内容も理解しやすかったと思うが、予習や自主学習に欠ける者については、テキストの難易度は高かったと思われる。授業運営の性質上、学生数が多いために、個々の学生に合わせてきめ細かく指導するという事は難しいと言わざるを得ず、授業の理解度は学生の自主学習如何で大きく変わってくるため、学生にはさらなる自主学習と積極的な授業参加が望まれる。
F	問12に対して8割近くの学生がちょうどよいと回答していることから、まずまずの結果である。受講組み分けから考えると、むしろ予想よりよい。学習時間もほぼ予想通りである。
F	問11、授業の「難易度」は、82%ほどが「ちょうどいい」、問12の授業内容の量は、100%が「ちょうどいい」、問13の学習時間も1時間以内から2-3時間に分散し(大半が2時間以内)、学習時間が「なし」のものは0%であることから、特段問題は無いと考える。
F	3限目のクラスは3つの異なる専攻の学生と再履修生の混合クラスだったので、習熟度に大きな差があり、指導の難しさを感じた。このクラスでは、アンケートの「授業の難易度および授業内容の量」について、7割の学生が「ちょうど良い」と答えているものの、「簡単すぎる」「難しすぎる」「少なすぎる」など極端な選択肢を選んでいる学生もいるので、英語力の上位者と下位者が不満を持たないような配慮がもっと必要だったと思う。一方、4限目のクラスは単一クラスなので3限目ほどのバラツキはなかった。混合クラスでは英語力にかなりの開きがあるので、クラスの少数である英語力の上位者と下位者にもっと注意を払い、彼らが満足できるような指導をしていきたい。週あたりの学習量はどちらのクラスも全体的に少ないので、予習・復習を含め週あたり2~3時間になるように工夫したい。
F	「授業の難易度、授業内容の量は、ちょうどよい」と感じている学生が半数を超えていた。ただ、「授業のための学習時間が1時間以内」が半数を超えていたのは、高校までの英語学習にかけられる時間と比較して少なすぎる。テキスト以外の英語にも触れる時間を増やし、自信を持って英語学習を続けていってほしい。

F	学習時間の確保のために定期的にレポートを課し、提出させる方法を検討中である。
F	難易度については、どの学生にとってもこれまで学習した表現や文法であるにもかかわらず、どう使用するかについては学んでこなかった学生が多いため、表現は容易であるのに会話作成は難しいと感じており、難易のバランスが取れているのではないと思われる。授業中には、そのバランス、授業の容量についても工夫してみた。授業のための学習時間については、新しい表現も学べるよう表現集のテキストを用い、小テストを行うなど予習復習ができるよう工夫した。
F	1限と2限で多少差があるが、おおむね「ちょうどよい」という回答をいただいたので、内容や分量はこれで良かったのだと思っている。
F	「問11と12」に関しては、約80%の学生が「ちょうどいい」と答えており、今後はバランスを考慮しながら授業内容を工夫していきたい。「問13」に関しては、全員が「1～2時間」と答えているため、専門科目ではないことを考慮しながら、今後は学習時間のバランスを考えていきたい。
F	ちょうど良いと感じている学生が多かったので、良かったと思う。
F	授業の展開にいくつか変化を与えて学生の集中力を維持するのに努めた。さらなる工夫を行う意向である。
F	難易度、量については合っていたと思われるが、学習時間は少ないと感じられる。

科目	どのような基準で学業成績の結果を出されましたか。提出された成績評価も踏まえてご記入ください。
F	テスト, 授業態度
F	シラバス通り
F	シラバスに掲載した通り、平常点（出席、授業の参加度）10%、提出課題 30%、試験 60% の3項目の合計点を基準として評価を出した。
F	教科書の課題の理解を助ける書き込み式プリントを作成したり、2人である会話を練習しそれを口頭発表してもらったりし、それらを点数化し、学期末のペーパー試験の結果と合わせて評価しました。プリントにおいて、授業でやった所は書いてないと減点と言ったので、ほとんどの学生達はきちんと仕上がっていましたが、中にはただ埋めてとりあえず提出しただけというのも見られました。以前は授業でとばした箇所もやってあったことがありますが、自ら取り組む姿勢はほとんど見られませんでした。ペアワークでは、できるだけ正確な発音を身に付けてもらいたいと思い、CD付の教科書を選びましたが、ほとんどの学生達は聞くことがなかったようです。定期試験では基礎的なことを問う箇所の出来が最も悪かった。評価に関わることで、要求した事はきちんとやってくれましたが、そうでない事はやってくれませんでしたという印象を受けました。
F	プレゼンテーション:20%、期末筆記試験:80%
F	60点以上を合格とし、毎回の英文作成のできをみながらギリギリに当たる学生への対処の一環とした。同時に、必要技術を確実に身につけているかをチェックした。
F	課題レポート+期末筆記試験（TOEIC補講試験に不合格のために単位の出せない学生も数名いた。）
F	2回の筆記試験の合計点と出席状況。
F	1. 授業内での英語の量(積極的参加)と質(英語パフォーマンス)(出席含む:関心/意欲:20%)、2. ロール・プレイ(技能/表現:60%)、3. 小テスト(知識/理解:20%)、以上3点により総合的に評価した。
F	英語が得意、不得意に関係なく、どれだけ真面目に授業に参加し学習に取り組んだかを評価した。 内訳は定期試験(40%)。15回の授業で学習したことの総まとめテスト。しっかり授業を聞いているか、教科書の内容をしっかり理解しているか、リスニング練習をしているかなどを確認する。 小テスト(30%)。教科書の予習をしているかどうかを確認する。出欠席の確認にも使用。 提出物+平常点(20%)。英文作成2回。内容だけでなく、提出期限が守られているか、規定通りに作成されているかも評価した。平常点は授業の参加状況、取り組む姿勢などを総合的に評価。 パワーポイントを使っての英語でのプレゼンテーション(10%)。プレゼンの内容、話し方、パワーポイントの構成などを総合的に評価。
F	定期試験70%、授業参加度30%。出席状況、授業内での応答、ペアワークでのとりくみなどを授業参加度に含めた。
F	定期試験の評点による。初級語学の試験では主観的判断の入る余地はないので、点数は明快である。
F	私はどの授業でもルーブリックを作成し、評価規準についてどのようにしたら基準ABCがつき点数化されるのかオリエンテーション時に配布し説明して授業を行っている。試験となる最終発表以外に毎時間の発表や、e-learningの課題、小テスト、提出された会話シートの内容など、多方面から成績結果がでるよう示した。

F	各授業の最後に出した課題の点数と定期試験の点数で評価した。
F	授業では、ポイント制度を実施しており、毎回の授業で学生は課題や発表、教科書の解答等に応じてポイントを獲得し、そういったクラスポイントと最終プレゼンテーションと期末試験を総合し、成績評価を付けた。
F	小テストと、テスト、会話テストと授業態度のほか、授業ごとに感想文を提出してもらい、それも評価の対象にしている。
F	出席率、授業内での小テスト、発音に重点をおいた英語の発話能力、学期末試験の結果を総合的に判断して評価した。
F	外国語科目であるが、1クラスに55名もの受講生がいるため、現実的に平常点を加味することは難しかったので、定期試験の結果で判断した。



科目	授業改善について、独自に工夫されていることについてお書きください。
F	新しい教材を使う。生徒の興味をひく。
F	1. 様々なレベルや動機を持った学生が頑張っており、講義を進めている。具体的には、英語で自己表現をする時の内容を自分で考えさせたり、覚えたい語彙を自分で選ばせたりしている。2. 学生が英語で話すときのストラクチャーを作りやすいようなワークシートを作成している。
F	学生の反応を確認しながら、授業を進めるようにしています。それによって分かり難い箇所、あまり学生には興味がない箇所が把握でき、次回の授業に活かされるようにしています。
F	コミュニケーションスキルの向上を図るため、学生同士でのペアワークやグループでのプレゼンテーションのタスクを課している。
F	学科により英語訓練への反応が違うので、学生の様子を確認しながら、適宜進度を決める。授業についての発言は、その質問が適切であるかどうか、よく考えてから発言するよう何度でも伝える。故にアンケートの自由記述も不適切な言葉がないよう伝えた。が、それを越えて間違いをするものが年々増えているので、こちらもより慎重に伝えるように工夫する。
F	リーディングスキルの向上を目指すクラスであるが、授業ではペアワークなどを取り入れ、学生同士で講読内容を説明したり、要約したりするタスクを課している。
F	常日頃から学生のニーズに合った教科書を意識して探している。
F	授業前の休み時間に席替えを実施する。教員養成の大学なので、気の合う人ばかりではなく苦手な人とも積極的に関わってもらいたいと思い、英語Ⅱのクラスでは2週おき、コミュニケーションのクラスでは隔週で実施。エクセルの並べ替え(乱数)を使って席順を決める。一番前に座るのを嫌がる学生とか面倒がる学生もいるが、ワクワクして面白いとか気分転換になって良いと言う学生が多い。座席表に氏名を書いてもらうので出席チェックも同時にできて良い。毎回、できるだけ早く教室に行って準備をし、開始時間に余裕を持って挨拶をし、授業に入れるように心がけている。英語力に差があっても皆が英語学習を楽しめるような雰囲気作りを心がけている。教科書の内容だけではつまらないので、教科書以外のアクティビティやタスクも取り入れている。授業が短調にならないように、メリハリのある授業作りを心がけている。
F	「聞く、話す」分野のコミュニケーションはインプットがたくさんないとアウトプットすることができないので、可能な限り正しい英語を聞かせていけるよう、指導していきたい。
F	机間授業を通じて学生との意思疎通を図りながら、個々の質問に丁寧に答えることによって、学生の理解を深めるようきめ細かな授業を行うよう努めている。具体的には、例えば、各自テキストの問題を解いている間、教室を廻りながら、彼らの回答の様子を観察しながら、適宜個別指導をしたり、質問を受けたりすること(机間授業)を常に念頭に置いている。彼は学生とのコミュニケーションをとるのに良い方法であり、また個別的にしか質問できない学生もいるからである。
F	学生から授業目標にそった独自のアンケートを期末に実施し、自己分析して次期のテキスト選択や活動内容の見直しなどに生かしている。

F	各授業の最後に出した課題にコメント欄を設け、授業に関する要望に対しできるだけ丁寧に対応するようにしている。さらに授業の雰囲気もみて、授業の進度を調整するように努力している。
F	各授業において、ポイント制度を実施することで、学生の学習モチベーションの向上をはかっている。 また、学生が興味を持ちそうな授業内容を考慮しながら、英語能力の向上をはかっている。
F	ポルトガル語を通して、ブラジルの文化についても興味・関心を持てるように、教材を工夫している。
F	テキストの内の英文法、文脈理解を徹底的に行いつつ、常に音声を聞かせながら効果的に授業を行っている。 また映像教材(DVDディスク)も頻繁に用いて視覚的にも英語を学習させるよう努めている。 グループ・パフォーマンスが受講生にとっては新鮮でクリエイティブかつ刺激的であったようである。 今後もこの種のアクティビティーは続けていきたい。
F	外国語科目を担当したのは今学期が初めてであったが、外国語科目がほとんど開講されていない現状を考慮し、今後の英語の自主的な勉強に役立つ方法を体験してもらうことに主眼を置いてみた。